

東邦大学グランドデザイン2030

はじめに

本学が2019年から2025年までの教学の中長期計画「東邦大学グランドデザイン2025」を策定した2018年以降、各種施策の進捗による学内状況の変化に加え、予測を上回る少子化の進行やコロナ禍を経た社会変化等により、高等教育機関および本学を取り巻く環境は大きく変化しています。高等教育および研究関連政策においても、今後の高等教育機関の在り方に関する分析・検討に基づく重要な方針が多数示されており、特に文部科学省中央教育審議会の「高等教育のグランドデザイン（答申）」で示される2040年は、高等教育機関にとって、その時点での在り方が問われる重要な時点とされています。

これを踏まえ、本学における教学の次期中長期計画として、2040年を見据えた「東邦大学グランドデザイン2030」（計画期間：2025～2030年）を策定いたしました。本計画は、本学がこれまでに培ってきた自然・生命科学分野における伝統と実績を継承しつつ、急速に変化する社会課題に対して先見性をもって応えるための羅針盤となるものです。

建学の精神に対する深い理解と愛情を基盤に、教育・研究・医療を通じた社会貢献をさらに推し進め、次世代へと続く持続可能な未来の創造に寄与してまいります。

(2024年12月2日 大学協議会決定)

東邦大学 学長

渡邊 善則



ビジョン・養成する人材像

VISION

自然・生命科学の知と学びの先導的学府になる

養成する人材像

高い倫理観と豊かな人間性をもって、自然と生命の科学で社会に貢献し、**未来をつなぐ**人材を育成する

❶ 策定の背景と「未来をつなぐ」に込めた想い

本計画では、伝統の継承に加え、急速な社会変化に対応する先見性・発展性・未来志向を重視しました。ビジョンについては2030年の目標として変更なく掲げ、人材像には新たに「**未来をつなぐ**」という一文を加えています。

この言葉は、ブランドステートメント「生命（いのち）の科学で未来をつなぐ」に由来します。医療や環境保護を通じて「いのち」をつなぎ、人とのつながりから新たな価値を創り上げていくという、東邦人が社会に提供する普遍的な決意を表しています。

5つの優先事項

01. ブランド認知・評価

東邦ブランドの認知・評価の獲得

東邦大学の自然・生命科学分野における優れた教育・研究成果が社会から認知され、受験生や卒業生、就職先等のステークホルダーから高く評価される。

重要成功要因1

ステークホルダーからの評価

優れた教育・研究成果が、受験生や労働市場、産業界から高く評価されている

重要成功要因2 認知度の維持・向上

優れた教育・研究成果が正しく社会に認知されている

02. 質の高い教育

質の高い教育

大学のもつ特徴と資源を十分に生かし、学修者目線に立った教育を行い、改善・向上の仕組みによりその質を高め続けることにより、社会のニーズを反映した人材を将来にわたり輩出し続ける。

重要成功要因3

学内連携と最良の教育による学修成果

学部間連携や学部間交流等により、大学の特徴と資源を最大限生かし、絶え間ない改善・向上の仕組みに支えられた最良の教育を実施することにより、学生は将来にわたり社会で活躍できる優れた知識・技能を身に付けている

重要成功要因4 教育の多様化・多角化

大学は、予測不能な社会に対応できる人材を養成し、また、大学自身も対応していくため、教育手法（DX）、教育内容（DS、国際化）、教育対象（リカレント）等において先見性をもって多様な取り組みを行っている

03. 質の高い研究

質の高い研究

大学のもつ特徴と資源を十分に生かし、研究基盤や研究マネジメント体制を整備することにより、研究者による自由闊達かつ独創的な研究を支援するとともに大学のブランドとなるような重点研究を創出する。

重要成功要因5 重点領域研究の創出

共同研究が盛んになり、大学を代表する重点領域研究を創出している

重要成功要因6

管理・支援体制に支えられた裾野の広い研究

順法性・公正性を担保の上、研究が促進される研究マネジメント体制が確立され、研究者による自由闊達かつ独創的な研究がおこなわれている

04. 地域貢献

地域への貢献

教育研究成果の提供を通して社会ならびに地域の発展に貢献することにより、不可欠かつ価値ある存在として将来にわたり認識され続ける。

重要成功要因7 地域への貢献

教育研究成果の提供を通して地域の発展に貢献することにより、不可欠かつ価値ある存在として認識されている

05. 教職員組織

充実した教職員組織

グランドデザインの実現にむけ、教職員が意欲をもって有効に協働するため、大学の状況や方針についての理解・共感を醸成する施策、能力・意欲向上の施策、適切かつ効果的な協働が実現するための組織体制およびそれらの改善向上が図られる仕組みを整備する。

重要成功要因8 充実した教職員組織

グランドデザインを実現するため、適切かつ効果的な組織体制のもと、教職員は能力と意欲をもち、有効に協働している